

◆企画名 KU サポーターズ主催 ファシリテーション講座
日 程 平成 23 年 10 月 4 日 (火)
場 所 総合学生会館凜風館 4 階 ミーティングルーム小
参加者数 21 名 (内、KU サポーターズ 10 名)
目 的

当コミュニティは本年 3 月に行われたピア・コミュニティ合同合宿において、「KU サポーターズに実施してほしい企画」について他コミュニティのピア・サポータにアンケート調査を行った。その結果、会議を円滑に進める能力を身につける為の企画を望む、という回答が多く得られた。この結果から、会議の進行に不可欠な能力であるファシリテーションに焦点を絞り、ピア・サポータを対象にした当企画を立案した。

当企画では、グループワークや振り返りを通して、他コミュニティのピア・サポータにファシリテーション能力を養ってもらい、ピア・サポート活動全体を活性化させるという事を目的とした。

内 容

まず、ファシリテーションについて企画担当が作成したレジュメに沿って説明を行った。説明内容は、①ファシリテーションとは、②ファシリテーターの基本姿勢、③ファシリテーションのプロセス、④ファシリテーションのスキル、の 4 つの項目に分けて行った。

次にワークに移り、グループに分かれて、勉強、趣味、友達、お金、課外活動の 5 つについて、大学生活を充実させるために最も大切だと思う順番を決める話し合いをしてもらってもらった。話し合い中は、グループのメンバー全員に必ずファシリテーター役が回ってくる様にして、実際に体験しながらファシリテーションについて学んでもらった。

ワーク後には振り返りシートを配布して、自分でファシリテーター役をやってみて良かった点、反省点、今後に生かしたい点を書き込んでもらった。

感 想

一からファシリテーションについて学び、説明できるだけの知識を得るまでには多くの時間を費やした。そして得た知識を参加者の皆さんに分かりやすく伝えなければならない、という第二の関門にも苦勞し、企画を自分の手で作り上げる事の難しさを感じた。

しかし、企画後に参加者の方々から「勉強になった」と言ってもらえた事が何よりも印象に残っている。伝える事の感動、力になれる事の喜びを知ることができた。

改善点

企画に取りかかるのが遅かった。最初に決めたスケジュール通りに進められていれば、企画実施日が近づいてきてもあわてる事はなかったように思う。

当日は時間通りに進行できず、時間をオーバーしてしまった。綿密なりハーサルが必要である。

また、企画自体の目的を強く意識できておらず、目的と実施内容がずれてしまった。